

浅田二郎議員

被害者の立場に立った支援こそ必要

**問** 突風による被害者支援は、「被害者生活再建支援法」等の適用のない規模であり、被災者の立場に立った市の支援こそ必要だが。

**答** 災害見舞金を初め、廃棄物処理手数料の減免、固定資産税や国民健康保険税の減免など、現行制度の中でできる限りの支援をしていく。



突風により大きな被害が出た諸井地区

都市計画税統一への検討はいかに

**問** 都市計画税は目的税であり、市の裁量・判断で決めること。その統一はどのようにつに検討していくのか。

**答** 平成19年度には都市計画税の課税方針を決定する。早い時期に都市計画税の統一に向けた庁内組織を立ち上げ、課税方針の検討を進めたい。

水道料金統一の原則は

**問** 水道料金の統一は、合併時の「負担は低く、サービスは高く」の原則に基づくべきと思うが。

**答** 財務状況を確認し、収支バランスを図り、健全な企業経営に努め、市民への負担が少なくて済む最善の方法を検討したい。

竹原和義議員

頑張る地方応援プログラムへの応募は

**問** 国の「頑張る地方応援プログラム」へ東海道五十三次どまん中通りの応募は。

**答** 袋井宿開設四百周年に向け、東海道どまん中まちづくり事業計画を策定する中で検討したい。

地域づくり総務大臣表彰への応募を



浅羽中学校校舎

**問** 「地域づくり総務大臣表彰」の地域振興部門等についでに応募は。

**答** この表彰制度は、地域全体の活性化が目的であり、まずは、市民活動団体等へ広く情報提供していく。今後とも、それぞれの活動を支援する中で、表彰に該当するよう活動に育っていただくことが何よりと考える。

教育施設の建て替えは

**問** 「浅羽中学校校舎、浅羽北小学校体育館」の建て替え等の予定は。

**答** 浅羽中学校校舎は、耐震補強を行っており、当面は維持管理に十分配慮し、安全の確保に努めたい。浅羽北小学校屋内運動場は、来年度耐震補強計画を策定していく。